

「ブラジルの抽象画」

助川太郎 + 芳垣安洋

guitar, 口琴

percussion, 口琴

6月05日(日)

開場 16:30

開演 17:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可)

MC 2,500円 + 2drink order
(1drink ¥600~)

CAFE **B**EULMANS

お問合せ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カフェザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



助川太郎 guitar

1973年東京生まれ。2001年 米ポストン、パークリー音楽大学 ギター科卒業。ブラジル音楽を中心に、ジャズのバックグラウンド、尾尻雅弘氏に師事したクラシックギターの要素、エフェクターや特殊奏法を多様化したサウンドデザイン等、様々な要素が混然一体となっている演奏家である。ギター、口琴、エフェクターを併用した三位一体の演奏で、音楽シーンに全く新しい世界観を発信し続けている。ヴォーカリストEMIKO VOICEとのデュオで結成したブラジル音楽ユニット「メロコラソン」では2003年より活動。現在までに5枚のアルバムを発表している。2013年、ソロギタリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム "This is guitarist" を発表し、diskunionジャズチャートで初登場一位を獲得。「レコード芸術」「現代ギター」「ラティーナ」「CDジャーナル」などの音楽誌、各種メディアに取り上げられ反響を呼ぶ。現在はソロギターでの全国ツアーの他、ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、タンゴ、民族音楽、芝居の舞台音楽など幅広いフィールドで演奏活動を展開中である。

芳垣安洋

打楽器奏者、作編曲家。ジャンルを飛び越えてビートとメロディーを紡ぐ打楽器奏者。兵庫県出身。'90年代、Altered States、モダン・チョキチョキズ、渋さ知らズ、Ground Zero、ROVO、DCPRGなどのジャズ〜アヴァン・ポップを牽引したバンドのメンバーとして活動。大友良英、内橋和久、スガダイロー、山下洋輔、坂田明、菊地成孔、柳原陽一郎、おおはた雄一、UA、ROLLY、カルメン・マキ、ホッピー神山、レナード衛藤、ヤドランカ、ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーンなど様々なミュージシャンと共演。大編成ジャズグループ「オルケスタ・リブレ」打楽器アンサンブル「オルケスタ・ナッジ!ナッジ!」ピアノトリオ「オン・ザ・マウンテン」など多様なグループを主宰。海外公演も多数。「リズム&ドラムマガジン」にコラムを連載中。文学座などの舞台演劇、「Co. 山田うん」などのコンテンポラリー・ダンス、映画、TVドラマ、アニメーションなどの音楽制作にも数多く携わる。 <http://y-yoshigaki.com/index.html>